

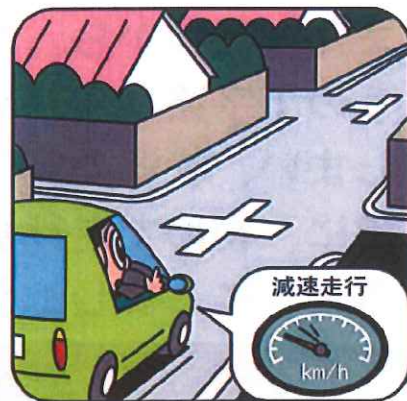


～安全運転のポイント～

裏道は狭い道路が多く、車の通行には適していません。しかし、渋滞を避けるために裏道を走行したり、目的地に早く到着するための「抜け道」として利用している車もみられます。裏道走行には、幹線道路とは異なるさまざまなリスクがあります。そこで今回は、裏道走行のリスクと留意点についてまとめてみました。



裏道走行に潜むリスク



裏道は車の走行に適した道路交通環境とはいえない

裏道の多くは、センターラインも歩車道の区分もなく、道幅も狭い道路です。利用者の主体も歩行者や自転車ですから、車の通行に適した道路交通環境が整備されているとは限りません。

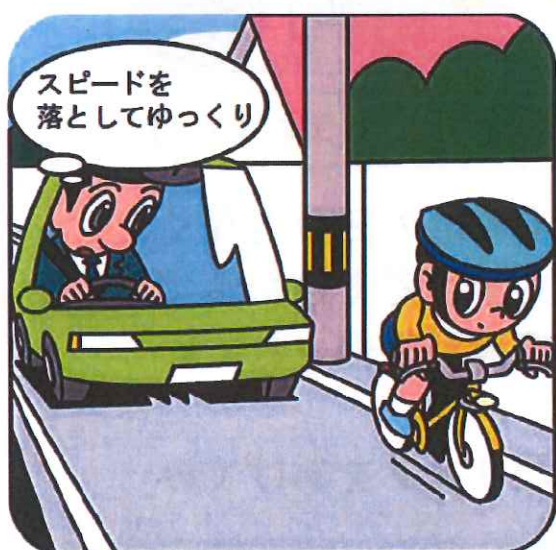
こうした裏道を走行する場合の主なリスクをあげてみましょう。

- ・路面の道路標示によく注意しないと見過ごしてしまうような交差点（十字路や丁字路）が多い。
- ・通行している歩行者や自転車の側方を通過するときに安全な間隔がとれない。
- ・対向車があるときは、どちらかが退避しなければ通行できない。
- ・交差点だけでなく、道路に面した住宅の出入口からも歩行者や自転車の飛び出しがある。

「抜け道」として利用している場合の留意点

裏道を日常的に「抜け道」として利用している場合、その道路の形状や交通環境、走行経路もよくわかっていますから、特に危険はないように思われますが、慣れからくる落とし穴があります。それは油断や思い込みです。

油断が生じれば、警戒感も薄れて周囲への目配りもおろそかになり、スピードも上がってくるおそれがあります。また、経験から、この十字路は飛び出しがあるが、向こうの丁字路は飛び出しはないなどと思い込みで運転してしまい、状況の変化に対応できないおそれがあります。常に、初めて走行する道路と同じ慎重さをもって走行するようにしましょう。



3月は春休みがあり、幼稚園児や小学生が普段と違う場所で活動しますので危険が高まります。運転に注意が必要です。



株式会社大東工業
●車検・整備・修理受付
名古屋市港区正保町8-22
052-381-9161

●保険・福祉車輛受付
名古屋市中川区中野新町4-35
TEL 052-354-5433
FAX 052-354-5439
Mail: kabu-daito@themis.ocn.ne.jp

